

受理年月日	令和2年10月7日	付託年月日	令和2年10月9日	所管委員会	生活環境委員会
番 号	2 年 請 願 第 1 8 号				
件 名	2030年度の温室効果ガスの削減目標の大幅引上げについて				
請 願 者	早良区内野六丁目1-67-3 パワーシフト福岡 代表 本河 知明				
紹介議員	荒木[筆頭]、森(あ)、倉元、堀内、綿貫、山口(湧)、松尾、中山				
分割付託	なし				
要 旨	<p>市は今年2月、2040年度温室効果ガス排出ゼロを目指すと表明しました。しかし、市はまだ具体的な施策を示しておらず、これから2年程度かけて地球温暖化対策実行計画を改定するとしています。</p> <p>温室効果ガスの削減目標について、現在の計画に書かれているのは、2013年度比で、2030年度に28%削減、2050年度に80%削減です。2040年度に排出ゼロ(100%削減)を目指すのであれば、2030年度の目標値として、少なくとも50%削減を掲げるべきだと考えます。例えば、同じ5%削減するにしても、100%から95%に削減するのと、5%から0%に削減するのでは、はるかに後者のほうが困難であり、これから10年間の取組がより重要になります。</p> <p>また、今年はコロナ禍の影響で温室効果ガスが減少すると言われていたようですが、世界的な経済危機、景気後退を伴ったにもかかわらず、僅か5~10%程度の減少だと言われていています。私たちは経済危機を伴わない形で脱炭素社会を実現する必要があり、そのためには経済や社会の仕組みを抜本的に変革していく必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス対策としてだけでなく、気候危機を阻止するためにも、私たちの生活様式も大きく変える必要があります。地球温暖化対策実行計画の見直しに当たっては、有識者を中心とした議論ではなく、同ウイルス対策に留意した上で、全市民的な議論を経て、見直していく必要があると考えます。特に、より大きな影響を被ることになる若者や子どもたちの意見も聞きながら、見直していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <p>1. 市は、地球温暖化対策実行計画の見直しに当たって、</p> <p>(1) 2030年度の温室効果ガスの削減目標について、少なくとも50%以上の削減を目指すこと。</p> <p>(2) 特に若者や子どもたちの意見も聞きながら計画を見直すこと。</p>				
審 査	令和 年 月 日	結 果	委員会		
年 月 日	令和 年 月 日		令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		本会議 令和 年 月 日		

2020年10月7日

福岡市議会議員 阿部真之助 様

請願者 パワーシフト福岡 代表 本河知明
〒811-1123 福岡市早良区内野 6-1-67-3

地球温暖化対策実行計画の見直しにあたって 2030年の温室効果ガスの削減目標の 大幅引き上げを求める請願書

【請願趣旨】

福岡市は今年2月、「2040年温室効果ガス排出ゼロ」をめざすと表明しました。しかし本市はまだ具体的な施策を示しておらず、これから2年程度かけて「地球温暖化対策実行計画」を改定する、としています。

温室効果ガスの削減目標について、現在の計画に書かれてあるのは「2030年に28%削減(2013年度比)、2050年に80%削減(同比)」です。2040年に排出ゼロ(100%削減)をめざすのであれば、2030年の目標値として、私たちは少なくとも「50%削減」を掲げるべきだと考えます。たとえば、同じ5%(ポイント)削減するにしても、「100%(ポイント)→95%(ポイント)」に削減するのと、「5%(ポイント)→0%(ポイント)」に削減するのでは、はるかに後者のほうが困難であり(これから20年間、毎年前年比5%削減なら2040年には35.8%までしか削減できず(0.95の20乗)、前年比8%削減なら18.9%(0.92の20乗)、前年比10%削減なら12.2%(0.90の20乗)にしかならない)、これから10年間の取り組みがより重要になります。

また、今年はコロナ禍の影響で温室効果ガスが減少すると言われていますが、世界的な経済危機/景気後退を伴ったにもかかわらず、わずか5~10%程度の減少だと言われています。私たちは経済危機を伴わない形で脱炭素社会を実現する必要があり、そのためには経済や社会の仕組みを抜本的に変革していく必要があります。

新型コロナ対策としてだけでなく、気候危機を阻止するためにも、私たちの生活様式も大きく変える必要があります。今度の「地球温暖化対策実行計画」の見直しにあたっては、有識者を中心とした議論ではなく、(新型コロナ対策に留意した上で)全市民的な議論を経て、見直していく必要があると考えます。特に、より大きな影響を被ることになる若者や子どもたちの意見も聞きながら、見直していく必要があるのではないのでしょうか。

よって私たちは以下の内容を請願いたします。

【請願項目】

福岡市は、地球温暖化対策実行計画の見直しにあたって、

- (ア) 2030年の温室効果ガスの削減目標について、少なくとも50%以上の削減をめざすこと
- (イ) 特に若者や子どもたちの意見も聞きながら計画を見直すこと

